

平成 29 年度 学校法人 三幸学園 千葉医療秘書専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 奥 敏幸

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 市川 静夫

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通して日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として、「相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・人間性を高める教育の実践 高い現場力の醸成

「相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出することができると考え、教育活動を展開してきた。学習の成果として、就職決定率、資格取得率において高い結果を残すことができ、基本となる社会人基礎力の習得においても行事・課外活動等を通して養うことができた。また、生徒に将来像をイメージさせる働きかけを教員一同が一貫して行い、昨年に比べ退学率も減少させることができた。

次年度についても、以上の教育方針を持って教務にあたり、卒業生へのサポート支援体制の構築、病院との関係性構築を課題として取り組む必要がある。

② 学校関係者評価委員会コメント

・教育理念・目標が明確になっている

・挨拶など社会に出るうえで必要な基本の指導がしっかりなされている為、学生の実習態度が良い

・退学者低減の施策は今後もしていくべきである

・検定対策の授業以外でも、将来役立てることのできる授業があるところが評価できる

・検定 WEEK など、資格取得に対するサポートが確立されている

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・保護者、生徒への学校の理念・目的・育成人材像・将来構想の浸透
- ・業界の動向の把握と、それに応じた教育目標・教育育成像の設定
- ・医療事務分野での産学連携の活性化

② 今後の改善方策

- ・ミッションビジョンポスターを校内掲示し視覚から浸透させる
- ・病院訪問を積極的に行うことで現場の意見を取り入れ、業界のニーズに合わせた教育目標の設定
- ・収集した情報を多面的に評価し、教育課程の編成に活用していく仕組みの構築
- ・産学連携の強化

③ 特記事項

- ・教育理念、目標、人材育成像を体系化し全教職員への浸透を図っている
- ・三幸学園の原点「あきらめない教育」を小冊子化し配布、全教職員に浸透するように研修実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・医療分野の専門学校でできる最大の産学連携は実習であり、さらに実習を発展充実させていく必要がある
- ・実習では医療機関の事務における幅広く様々な業務を体験させるようにしている
- ・保護者との連携等も必要に応じて実施するべき

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・グループウェアやAIを活用した情報共有等による業務の効率化をさらに推し進める
- ・業務の効率化をさらに推し進め、教職員のワークライフバランスの浸透を図る

② 今後の改善方策

- ・グループウェアの効果的な活用方法の理解促進

③ 特記事項

- ・年に3回の全教職員会議を実施し、運営方針の浸透・情報共有を行っている。
- ・2018年5月より、学内へWiFiの設置。
- ・残業時間の軽減を学園全体で取り組んでいる

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・どの業界においてもワークライフバランスや残業時間への取り組みはなされている
- ・翌日に回せる業務は翌日に回すなど残業しない意識改革をする必要があるのではないか
- ・医療業界でも残業の軽減は難しいが、時間を制限することや、残業しない日を設けるようにしている
- ・引き続き適正な学校運営を行ってほしい

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・キャリア教育を推し進めるために、業界・社会のニーズに沿ったカリキュラム・教育方法を開発する。
- ・授業評価、実習先評価の精度向上と教育への反映

② 今後の改善方策

- ・提携企業との連携を強化し授業科目の解説や授業方法の改善・工夫を行う
- ・授業評価における評価項目の見直しを行い、教員の質を向上させる
- ・現場に足を運ぶ機会を増やし、直接話を伺う

③ 特記事項

- ・平成 27 年度より実習先(企業)と実習生(学生)による相互評価を実施している
- ・教員指導力向上のための研修を実施している(アクティブラーニング研修、アンガーマネジメント研修など)
- ・2016 年 4 月より教育開発部設置やトライアクション実施により主体的な生徒の育成、また教員の統一した指導教員指導力向上を図っている

③ 学校関係者評価委員会コメント

- ・資格取得に対するサポート体制が手厚い
- ・資格を生徒は知識があると判断する為、たくさん取得しておくとうい
- ・診療報酬請求事務能力認定試験(医科)を取得していると現場の即戦力になれるため、取得者を採用している

4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
4 資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・退学者のさらなる低減
- ・資格取得だけでなく、実践的な能力を身につけさせる授業展開
- ・卒業生の社会的活躍の情報収集と教育活動への反映
- ・卒業生のセカンドキャリアサポートが不十分

② 今後の改善方策

- ・資格取得への動機づけの強化及び環境面の整備
- ・教科担当教員同士の連携強化
- ・退学者プロジェクトに基づき、クラス報告会の実施と退学防止事例の共有
- ・同好会サイト SANKO LINK の活用

③ 特記事項

- ・就職実績のある病院へ訪問し、卒業生の状況をヒアリングして在校生の育成に生かす
- ・H31 年度よりカリキュラムの変更を予定

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業後に学校と関われる機会があるとよい
- ・卒業生向けのサイト「SANKO LINK」の認知度が低い
- ・卒業生の状況を把握するには、就職先とつながりを強化することである
- ・就職決定率も安定しており評価できる

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・卒業生との連携強化
- ・保護者との連携に偏りがある
- ・中途退学者への支援体制が不十分

② 今後の改善方策

- ・同窓会SNS「三幸リンク」の活用
- ・定期的な保護者への連絡を実施、学校行事等の見学機会を設定
- ・中途退学者への対応・支援の模索、検討

③ 特記事項

- ・平成 28 年 4 月より担任から保護者への電話掛けを実施
- ・飛鳥未来高校にて「職業理解のためのガイダンス」を実施
- ・千葉県専修学校各種学校協会主催「千葉県仕事の学び場」事業（専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン）への参画

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・保護者と連携することが大事であり、連携するには保護者通信の発送や電話掛けをし、状況を報告していく必要がある
- ・退学理由については目標喪失が多く、せっかく選んだ道の途中でまだ実践もしていない中で諦めてしまうことはもったいない

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・更に質の高い教育をめざし、教育環境・体制を整備する
- ・施設・設備の活用がまだ不十分

② 今後の改善方策

- ・避難訓練の実施
- ・メディカルルームを使用した実践的な授業展開

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・実習生は性格までよく理解した上で採用につなげられるため、病院実習は重要である
- ・三幸学園の実習生は基本の挨拶やマナーができるため好印象である
- ・実習生から就職に繋がるケースが多いので、入社希望者が実習に来てほしい
- ・きちんと会話のできる人を求めている為、接遇について指導を強化してほしい
- ・防災に対する準備ができている

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・学生募集活動は適切に行っているが、職業人物像・職業意識まで正確に伝えられていない

② 今後の改善方策

- ・広報担当部署との連携強化
- ・広報活動の際の業界説明や就職後の働き方の説明を強化
- ・教員での高校訪問の実施

③ 特記事項

- ・学納金は、教育研究費、人件費、施設管理費などを算出基盤としている
- ・学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握した上で決定している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・医療事務は職業イメージを持ちにくい職種であるため、周知活動を行っていく必要がある
- ・募集活動は適切に行われているように感じる
- ・学納金は妥当である

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方策

【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・更なる法令遵守の推進

② 今後の改善方策

・会議や掲示物等を通じて、すべての職員に法令順守に対する啓蒙を積極的に実施していく

③ 特記事項

・2014年度自己評価結果より公開を開始

④ 学校関係者評価委員会コメント

・医療機関でも個人情報の管理は徹底している

・医療機関にも、なりすまし電話なども多くあるため、病院内で情報共有をして注意するよう呼びかけている

・今後も個人情報を適切に保護してほしい

・個人情報に対する重要性をきちんと理解し、問題点に気づけるよう教育することも必要

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・ボランティア活動の活性化

・地域に対し、施設利用について周知がなされていない

② 今後の改善方策

・ボランティア活動を積極的に進めていく

・提携企業との連携を強化

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・ボランティアには様々な契約要件がある為、医療機関においても簡単に実施することは難しいが、今後取り入れていきたい

・地域に対する取り組みも必要

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	2
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	2

① 課題

- ・留学生に対して、積極的な募集活動を行えていない現状がある
- ・卒業後の就職先の確保が難しい

② 今後の改善方策

- ・留学生向けのホームページ上コンテンツの強化
- ・留学生に対する説明会、ガイダンスの実施回数を増加
- ・留学生に対する就職先の確保、母国の業界状況の把握、母国の就職斡旋等を強化する

③ 特記事項

- ・2014年度から「留学生学費減免入学」制度を実施している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・海外の人が増えてきているため、医療機関でも英語、中国語、韓国語が話せる人を採用したい
- ・留学生受け入れの広報活動をしていく必要がある

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するだけでなく人間性を高める教育を併せて展開することを教育目標とし、1年間取り組んできた。現場で活躍するための基礎力を資格・検定習得をベースに各学科で重点目標として掲げ、多くの科目で昨年度を上回る取得率を上げることが出来た。最終的な就職決定率についても、ほぼ全員が内定をいただくことができた。

心豊かな人間性を育むため、授業だけではなくその他の学校生活を通して挨拶、マナーの指導を行い、行事などを通して自主性・主体性を引き出す機会を設けている。

今後の課題として、人材育成像や職業人像について早い段階から生徒の理解を深めさせ、高いモチベーションを維持する仕組みづくりの整備や、企業でのボランティアを積極的に行うこと、またそれに向けての産学連携・企業訪問の充実が挙げられる。